

だいさんだんちいき いこう  
第三弾地域移行の  
みやま みる じぎょう  
みやま見える化事業

あた く たいけんじぎょう  
「新しい暮らし体験事業

れいわ ねんど じぎょう けいかく  
令和8年度事業計画

しゃかいふくしほうじん からいけがくえん

社会福祉法人

唐池学園

# 目次

01『新しい暮らし生活体験事業』からえられたもの

・

02 地域生活移行の「理想」と「現実」

・

03 明らかにになった課題

・

04 令和8年度の取組み

・

05明らかにしたいこと

・

# 「<sup>あなた</sup>新しい暮らし生活体験事業」からえられたもの

生活体験事業に参加してくれた人達

ひとたち

- |   |     |                   |                        |                |
|---|-----|-------------------|------------------------|----------------|
| ① | iさん | 46さいじょせい<br>46才女性 | しせつせいかつ3ねん<br>施設生活3年   | GH1<br>GH1へ移行  |
| ② | Mさん | 31さいじょせい<br>31才女性 | しせつせいかつ30ねん<br>施設生活30年 | 2かいさんか<br>2回参加 |
| ③ | Sさん | 54さい<br>54才男性     | しせつせいかつ34ねん<br>施設生活34年 |                |
| ④ | iさん | 57さいじょせい<br>57才女性 | しせつせいかつ38ねん<br>施設生活38年 | 3かいさんか<br>3回参加 |
| ⑤ | Fさん | 36さいだんせい<br>36才男性 | しせつせいかつ9ねん<br>施設生活9年   |                |
| ⑥ | Kさん | 30さいだんせい<br>30才男性 | しせつせいかつ9ねん<br>施設生活9年   |                |
| ⑦ | Uさん | 73さいだんせい<br>73才男性 | しせつせいかつ21ねん<br>施設生活21年 |                |
| ⑧ | Hさん | 58さいじょせい<br>58才女性 | しせつせいかつ8ねん<br>施設生活8年   |                |

にゆうしょしせつ きょうどうせいかつえんじょ そうだんしえん

・入所施設と共同生活援助、相談支援事業などの多機能型施設は生活体験を進めやすい。

・保護者・家族の「不安感」から実施できなかつた方が3名いた。

・施設生活が長期の方は。数回繰り返し体験を行うことがある。

参加された方は、「よかった」「みんな親切だった」と感想を語っていた。

グループホームに入られた方の生活は、入所の時より快適な暮らし

暮らしの快適さ く かいてき グループホームはより個別性の高いものになっている こべつせい たか

<small>こうもく</small> 項目	<small>しせつちゆうしん</small> 施設中心	<small>ちいき</small> <small>くらし</small> 地域での暮らし
<small>せいかつ</small> <small>ば</small> 生活の場	<small>こうがい</small> <small>おおきな</small> <small>しせつ</small> 校外の大きな施設 ( <small>しゅう</small> <small>だん</small> ) ( 集 団 )	<small>じゅうたくがい</small> <small>ぐる</small> <small>ー</small> <small>ぶ</small> <small>ほ</small> <small>ー</small> <small>む</small> 住宅街のグループホーム ( <small>しょうにんずう</small> ) ( 少人数 )
<small>かたち</small> ケアの形	<small>しせつない</small> <small>けあ</small> 施設内ですべてケア	<small>ちいき</small> <small>へる</small> <small>ぱー</small> 地域のヘルパーなど <small>いりよう</small> <small>かんご</small> <small>りは</small> <small>かつどう</small> 医療・看護・リハ・活動 <small>こべつ</small> <small>くみあわせ</small> を個別に組み合わせる
<small>ほんにん</small> <small>せんたく</small> 本人の選択	<small>しせつ</small> <small>はいる</small> 施設に入るしかない	<small>たいけん</small> <small>えらぶ</small> <small>せんたく</small> 体験して選ぶ・選択

でも「泊とまってみた」だけでは、  
じっさい ちいき せいか いこう む じつじょ  
 実際の地域生活移行には結びつかないのが実情



## 「地域生活移行」の「理想」と「現実」

「障害者権利条約」の批准を背景に、障害福祉施策は「施設から地域へ」という流れにあるが、厚労省の社会福祉施設等の最新データでも、5年で施設数は100近く減り、定員も在籍者も減少していますが、常に94%～95%の在所率となっている現状です。

最近の日本財団の「親なき後」の調査でも、重度の障害のある子をもつ家族が求める出来る住まいのトップは障害者支援施設に頼らざるをえない現実があります。

# あ 明あらかにあなった課題



しょうがいしゃしせつ じょうどか こうれいか  
障害者施設の重度化・高齢化

おやなきあと、ざいたくげんかい  
親なきあと、在宅限界

ちいききばん など  
地域基盤(グループホーム等  
ふそく、ふそく  
)の不足、スタッフ不足

## ちいき いこう すいしん いんかいかい ぎろん 地域移行推進委員会での議論

しせつづいせきしゃのちいきいこうなんいどたかい  
施設在籍者の地域移行の  
なんいど たか  
難易度は高い

しょうがいしゃしせつのおんていしたけいえい  
入所施設の安定した経営基  
24じかんまもられるあんしん  
盤と24時間守られる安心

グループホーム けいえいりよく よわ  
グループホームの経営力の弱さ  
がリスク

# 令和8年度の取り組み

けんひさしちいきじりつしえんきょうぎかい きょうどう と くみ

## 県央地域自立支援協議会と共同で取り組みます

ちいきいこうかた  
地域移行した方  
がためいじれいじれい  
々4名の事例か  
ら、暮らしの変  
化について、そ  
の要素を分析し  
ます。

あたく  
「新しい暮ら  
し体験事例の  
かた  
方々のその後  
の追跡調査を  
おこな  
行い、地域移  
行の課題を抽  
出します。

しょうがししえん  
「障害者支援施  
設の地域生活移  
行に関する取組  
みについて、ヒ  
ヤリング調査を  
おこ  
行い、進まない  
要因を探ります

ぞしょうがい  
引き続き、障害  
者支援施設利用  
者の「新しい暮  
らし体験事業」  
への利用を呼び  
かけます。



# 1. 地域移行した事例の暮らしの変化についての比較分析

暮らしの質の変化の把握、快適さや生活の質数値化

## 2. 対象 障害者支援施設からグループホームに移行した事例

① Iさん 46才女性 施設生活3年目で移行

② Kさん 61才男性 施設生活40年目で移行

③ Iさん 63才女性 施設生活14年目で移行

④ Hさん 53才男性 施設生活5年目で移行

## 3. 調査方法 インタビュー・アンケート

環境の質、対人関係、役割の確立、快適さ・満足度

事例分析(生活史からの心情の揺れ、行動の変化など)



# 1. 「体験事業」を利用した方の追跡調査による 課題分析

## 2. 対象 生活体験事業に参加した8名事例

## 3. 調査方法 訪問・インタビュー

ご本人、家族・保護者、支援者(施設・GH)

体験利用の期待とギャップの分析

利用に進まない要因の 카테고리分析

家族・保護者の心理的

施設職員向け、ご本人の変化



# 1. 障害者支援施設の地域移行に関するヒヤリング

「地域移行がなぜ進まないのか」「どうすれば動くのか」

## 2. 対象 県央圏域の障害者支援施設(入所施設)

① 施設入所の単体施設

② 法人内でグループホームや通所をもつ多機能機能施設

③ 地域拠点型施設 (緊急受入・相談事業なども運営)

## 3. 調査方法 プレヒヤリング1施設、ヒヤリング5施設

① 施設運営・経営的側面 (地域移行推進のジレンマなど)

② 家族・利用者との関係性(家族の不安との向き合いなど)



しょうがいしゃしえんしせつ にゆうしよしせつ りようしゃ たいする

# 障害者支援施設(入所施設)利用者に対する

あたらしいくらしせいかつたいけんじぎょう じっしけいぞく

## 「新しい暮らし生活体験事業」を実施継続します

神奈川県令和7年度地域生活移行推進民間提案事業

次の一歩を踏み出してみませんか

お申込みから体験までのシンプルなステップ  
まずは、募集登録にエントリー！

1. 施設でワクワク体験希望者を決定！
2. ドキドキ体験宿泊グループホームを調整・決定！
3. 募集所向士で日程のカレンダーゲーム！
4. グループホームは受入確認書、入所施設は生活体験参加計画書を事前に事務局にGO！
5. いよいよ生活体験スタート！
6. 体験の冒険を報告書で報告！
7. 事務局から生活体験費をすっきり清算！

あたらしい暮らし、体験してみませんか？

「～あなたの「やってみたい」を応援します。」

「施設での生活から、地域での自分らしい暮らしへ。一歩踏み出すのは、少し勇気がいることかもしれません。でも、その一歩を応援する体験プログラムがあります。まずは「お試し」から、あなたの「やってみたい」を見つめませんか？」

参加施設を募集しています  
ぜひ、このプロジェクトにお問合せください。

地域生活移行推進プロジェクト事務局  
社会福祉法人唐池学園 貴志園  
地域生活支援課 Tel0467-78-3234 Fax0467-53-9899

地域生活移行推進プロジェクト事務局



あき

# 明らかにしたいこと

しょうがいしゃふくししさく ちいきいこう おお てんかんき なか しげる  
障害者福祉施設は「地域移行」という大きな転換期の中で、重  
ど さわ ほう やくわり  
度の障がいのある方のセフティネットとしてその役割がまして  
います。

しせつ ちよくめん けいえいてき かぞく せつじつ  
施設が直面している「経営的なジレンマ」や「家族の切実な  
ふあん げんば かだい え  
不安」という現場のリアルな課題を浮き彫りにし  
りょうしゃ ちいき く けんり しせつ けいえい りょうりつ  
どうしたら、利用者の地域で暮らす権利と施設の経営を両立で  
きるのか。そのバリアをみえる化し、施設運営者としてのなす  
べきことをあきらかにしたい。